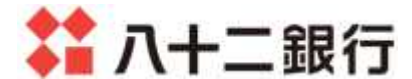


## 柔軟な働き方・勤務環境整備の取組事例



柔軟な働き方・勤務環境整備を積極的に推進している(株)八十二銀行が取り組んでいる主な事例のうち、2事例を紹介します。

## 取組の背景

八十二銀行は、「八十二銀行に働くすべての人は、“かけがえのない財産＝人財”」として、人財育成に積極的に取り組んでおり、第31次長期経営計画(2018年4月～2021年3月)では、「“人財”育成投資・活躍機会の拡大」をテーマの一つに掲げ、その一環として、働き方改革を実践し、フレキシブルな勤務形態(勤務時間・勤務場所等)の導入や、職場環境・福利厚生施設などの再整備を進めている。

【主な取得マーク等】

- ・くるみんマーク(H20)(厚生労働省)
- ・健康経営優良法人(大規模法人部門)(H30)(経済産業省・日本健康会議)

## 《企業概要》

【本社】長野市大字中御所字岡田178番地8  
 【資本金】522億円(東証一部上場)  
 【代表者】取締役頭取 湯本昭一  
 【従業員数】3,192名  
 【業種】金融業(銀行)

※平成30年3月31日現在



## 事例① 学校法人との提携による「育児を抱える職員が安心して働ける環境整備」

## ◆内容

- ・県内で保育園等を運営している学校法人信学会と提携し、年度途中で転勤して保育園を探す必要が生じた職員や育児休業から復帰する職員の子どもの受入れを行うとともに、突発的な保育時間の延長に対応できるようにしている。
- ・対象地域は県内の北信・中信・東信地域で、同法人が運営している16園に入・転園が可能。

## ◆背景

- ・八十二銀行は県内外に151店舗を構え、配偶者の転勤への帯同配慮も行っている中、定期的な転勤があり、年度途中で引越しを伴うケースもある。
- ・長野県内では出産後も働く女性が増加したこと等から、保育需要が高まっており、年度途中で保育園に入園することが難しくなっている地域もある。
- ・以上の背景を踏まえ、育児を抱える職員が安心して働ける環境整備とキャリア形成支援を目的として、平成29年12月の提携に至った。

## ◆提携に携わった職員の声

「この制度を職員に浸透させて利用者を増やし、育児を抱える職員がより働きやすい職場となるよう環境の整備を進めていきたい。」  
 (人事部)



## 事例② 八十二銀行独自で設定した「プレミアムフライデー」

## ◆内容

- ・平成29年2月から、給与支払日後最初の金曜日を、八十二銀行独自のプレミアムフライデーとして設定し、定時退行を推奨。なお、銀行全体で設定した日に早期退行が難しい場合、部店や個人毎に別の日に早期退行日を設定することも可能としている。

## ◆背景

- ・取引先企業の決済処理等の業務上、最終金曜日をプレミアムフライデーとすることが難しいため、実施日を業務上影響が比較的少ない日で独自に設定した。

## ◆取組のポイント

- ・経営陣がトップダウンで取組を開始し、人事部は率先して早期退行を実践している。
- ・本館では、定時退行を促すアナウンスを実践している。

## ◆制度を利用している若手職員の声

「通常日より、平均で1時間以上早く退行しており、プライベートの充実につながっていると感じている。」

「銀行全体の設定日とは別日に早期退行している部店も多く、利用者は多いと思う。」

